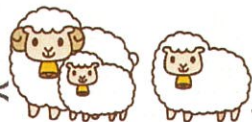


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 2

2022年5月24日発行



5月の聖句『子供たちをわたしのところに來させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。…子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。』
(マルコ福音書10:14以下より)

イエスさまは聖十字幼稚園のこどもたち、一人ひとりを大切な存在として祝福されます。無条件で。ありのまま。まるごと。たとえ、人の物差しでは「悪い子」に写っても。

いのちの大切さ、一人ひとりの大切さを、どんなに説いても、自分が大切な存在として愛されている、受け入れられているという体験が無かったら、いのちの大切さは伝わりません。そして他者を大切にすることへと繋がらないでしょう。

「わたしは大切な存在として親から、先生から、友達から愛を受けた」という体験が成長の基礎になります。イエスさまはこどもが大好きです。こどもたち一人一人は固有の美しさ・輝きをもった宝石なのです。ゆえに、こどもたちを祝福の行為、言葉で抱きしめましょうね。

チェブレン司祭いけたとおる



端午の節句祭

5月2日(月)は端午の節句祭のために、4月中から幼稚園内に「ハツケヨイ、ノコッタ、」の声と歓声が響いていました。

たのびこどもももうとあなどるなかれ。「見合、見合、」のときのバチバチしたにらみあいも、取り組みななかなかにどうして、スピード、迫り、その真剣さ、素晴らしいものがありました。



初めての縦割り保育の日

5月13日(金)は今年度初のたてわりクラスの白



研究に燃える年長さん



0番目の脳

最近TVで、人体の不思議(皮膚)についての番組を見ました。なんと「皮膚」には、目でなくても「光」を捉え、耳でなくても「音」を聞き、舌でなくても「味」を知るといった感覚が備わっていることがわかってきたそうです。その皮膚の能力は脳が生まれる前から存在していたため「0番目の脳」とも呼ばれるそうです。興味深かったのは、裸族の赤ちゃんがあまり泣かないことに研究者が気づき、「私たちの国では抱っこしても赤ちゃんが泣き止まないことがある」と話すと、裸族のお母さんが「何か服を着て抱っこしてないですか?裸で抱っこすると泣き止みますよ」と教えてくれたというのです。うわー!23年前に知りたかった~!謎の夜泣きにこっちが泣きそうだったっけ。今、子育て中のお父さんお母さん、お子さんが不安定なときぜひ実践してみてください。確かにそれはもっとも安心できる感覚だと想像つきますよね。

